

心理学II(2) 中村 奈良江	履修年次	クラス	単位	学期
	1-4		2	後期
備考：				

【講義の概要】

【授業の到達目標及びテーマ】

心理学では、心理学Iで学んだ多くの人に共通する行動特徴の内容から、さらに、発達によってどのように変化して行くのか、個人差の問題や置かれている状況によってどうか変わるのか、集団の場合にはどのようになるのか、といった問題を取り上げる。これらの知識を身につけ実生活の中で応用できる事をめざす。

【授業の概要】

授業の中では、基礎的な事例や実験例を示しながらその背景にある心理学的理論を探る。心理学の専門知識を身につける人にとっても基本的な知識を得るために必要な講義である。

【第1回】 イントロダクション 社会行動は何によって左右されるか1

ビデオ（帰属過程、対人認知、印象形成）

【第2回】 社会行動は何によって左右されるか2（同調行動・斉一性への圧力、説得行動：両面提示・一面提示、説得への抵抗、リアクタンス理論他、自己開示、）

【第3回】 社会行動は何によって左右されるか3（対人魅力：身体的魅力・近接性・類似性・生理的要因、単純接触の効果、集団決定、集団規範、リーダーシップ）

【第4回】 集団行動は何によって左右されるか（援助行動、攻撃行動）

【第5回】 第1回小テスト（社会心理学領域）

パーソナリティとは何か（定義、パーソナリティの構造、類型論：クレッチマー・ユング・シュブランガー、特性論：キャッテル、アイゼンク）

【第6回】 パーソナリティテスト（質問紙法：YG検査、作業検査法：クレペリン検査、投影法：ロールシャッハテスト、文章完成法、PFスタディ）

【第7回】 精神疾患の概要（主な精神病と主な神経症）

【第8回】 ゲストティーチャー

【第9回】 カウンセリング（ロジャースの心の理論とクライエント中心療法、行動療法、認知行動療法）

【第10回】 精神分析の理論と方法の概要（フロイトの心の理論と精神分析）

【第11回】 第2回小テスト（臨床領域）

発達によって何が変わるのか1

（遺伝と環境：行動主義者の考え、ジャンセンの環境閾値説、成熟と学習、発達優位説、ブルーナーの発達理論・ヴィゴツキーの発達最近接領域）

【第12回】 発達によって何が変わるのか2 ビデオ

（年齢毎の発達の特徴、ピアジェの認知発達の理論1）

【第13回】 発達によって何が変わるのか3

（ピアジェの認知発達の理論2、エリクソンの社会的発達、フロイトの精神分析的発達）

【第14回】 第3回小テスト（発達領域）

【テキスト】

「心理学概論」監修：山内弘継・橋本宰 ナカニシヤ出版

【参考書等】

必要に応じて随時資料を配布する

【成績評価の方法】

成績は授業期間中に行われる3回の小テスト（各30点満点）およびMoodle上の課題の提出状況（10点）による。小テスト問題は、必修問題と選択問題がある。必修問題は1問である。選択問題は領域によって問題数が異なる。問題の形式は選択式もしくは論述式である。適宜出席を取るが、8割以上の出席の場合は、試験の結果が50点台の者にのみ、出席点10点が適用される。それ以外の者には適用されない。

【履修上の注意】

講義は、初回に配付するシラバスにそって行われる。

心理学Iを受講しているほうが望ましい。